

2026年2月検針分 ANA ガス料金（西部ガスエリア）のお知らせ

いつも「ANA ガス」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

原料費調整制度に基づき、従量料金単価が調整されます。従量料金単価の見直し内容及び2026年2月検針分に適用されるガス料金は以下のとおりとなりますので、ご案内申し上げます。なお、経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、18円/m³の値引きを適用しております。

【料金表（ANA ガス（西部ガスエリア）（税込））】

	1カ月のガス使用量	基本料金(/月)	※単位料金(/月・m ³)	(参考) 補助金適用前単 位料金(/月・ m ³)	(参考) 2026年1月検針 分
A表	0m ³ から15m ³ まで	913円00銭	226円44銭	244円44銭	244円62銭
B表	15m ³ をこえ30m ³ まで	1,133円00銭	211円78銭	229円78銭	229円96銭
C表	30m ³ をこえ100m ³ まで	1,562円00銭	197円48銭	215円48銭	215円66銭
D表	100m ³ をこえる場合	2,167円00銭	191円43銭	209円43銭	209円61銭

※ 経済産業省の「電気・ガス料金負担軽減支援事業」実施に伴い、18円/m³値引きされています。

【原料費調整制度について】

原料費調整単価 : ▲20.32 円/m³ 【税込】

原料価格算定期間 : 2025年9月 ~ 2025年11月

トン当たり原料価格 : 82,690 円/t 【税抜】

(トン当たり平均価格算定の前提となる LNG・LPG 輸入数量および輸入価格)

基準平均原料価格 (円)	85,350	
	LNG (円)	LPG (円)
2025年5月~2025年7月平均	82,650	77,490

▼トン当たり原料価格の算定 :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{トン当たり LNG 平均価格} \times 0.9423 + \text{トン当たり LPG 平均価格} \times 0.0620 \\ & = 82,650 \text{ 円/t} \times 0.9423 + 77,490 \text{ 円/t} \times 0.0620 \\ & \approx 82,690 \text{ 円/t} \quad (\text{1の位を四捨五入}) \end{aligned}$$

▼原料価格変動額の算定 :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{トン当たり原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\ & = 82,690 \text{ 円/t} - 85,350 \text{ 円/t} = \text{▲}2,660 \text{ 円/t} \\ & \approx \text{▲}2,600 \text{ 円/t} \quad (\text{100円未満切捨}) \end{aligned}$$

▼原料費調整単価 (m³あたり調整額) の算定 (補助金定期用前) :

【計算根拠】

$$\begin{aligned} & \text{原料価格変動額} \div 100 \times 0.081 \times 1.10 \text{ (税率)} \\ & = \text{▲}2,600 \text{ 円/t} \div 100 \times 0.081 \times 1.10 \approx \text{▲}2.32 \text{ 円/m}^3 \\ & (\text{調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げ}) \end{aligned}$$

▼原料費調整単価（ m^3 あたり調整額）の算定（補助金定期用後）：

【計算根拠】

原料費調整単価（補助金適用前） - 18円

= ▲2.32円 - 18円 ≒ ▲20.32円/ m^3

（調整額がプラスの時は小数点第3位を切り捨て、マイナスの時は小数点第3位を切り上げ）

■原料費調整額とは…

ガスの原料（LNG〔液化天然ガス〕・LPG〔液化石油ガス〕）の価格変動をガス料金に迅速に反映させるため、その変動に応じて、毎月自動的にガス料金を調整する制度を「原料費調整制度」といい、そこで調整される金額が「原料費調整額」になります。

■「電気・ガス料金負担軽減支援事業」について…

詳細は、経済産業省資源エネルギー庁 HP (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/>) をご覧ください。